

貸 借 対 照 表
(平成30年3月31日現在)

株式会社さわやか倶楽部

単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	9,898,353	【 流 動 負 債 】	3,755,350
現金及び預金	6,365,553	短期借入金	615,004
売掛金	1,841,355	1年内返済予定の長期借入金	992,833
商品	476	未払金	671,637
販売用不動産	977,863	未払費用	421,330
前払費用	438,382	未払法人税等	179,298
繰延税金資産	106,867	前受金	233,995
その他	175,826	預り金	419,144
貸倒引当金	△ 7,972	賞与引当金	222,106
【 固 定 資 産 】	9,410,211	【 固 定 負 債 】	8,195,452
(有形固定資産)	6,752,289	長期借入金	7,291,644
建物	4,276,330	繰延税金負債	602,830
構築物	102,572	長期未払金	205,267
機械装置	55,520	その他	95,708
車両運搬具	7,679	負 債 合 計	11,950,803
工具、器具及び備品	189,698	純 資 産 の 部	
土地	1,882,038	【 株 主 資 本 】	7,375,560
建設仮勘定	238,450	資本金	200,800
(無形固定資産)	58,260	資本剰余金	31,415
ソフトウェア	26,594	資本準備金	31,415
その他	31,665	利益剰余金	7,143,345
(投資その他の資産)	2,599,661	利益準備金	18,784
投資有価証券	563,841	その他利益剰余金	7,124,560
出資金	360	固定資産圧縮積立金	253,874
長期貸付金	24,590	繰越利益剰余金	6,870,685
従業員長期貸付金	10,591	(うち当期純利益)	(701,123)
長期前払費用	182,297	【 評 価 ・ 換 算 差 額 等 】	△ 17,799
敷金及び保証金	1,226,299	その他有価証券評価差額金	△ 17,799
保険積立金	591,396	純 資 産 合 計	7,357,761
その他	284	負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,308,564
資 産 合 計	19,308,564		

個別注記表

重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの…決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直
入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品……………最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切
下げの方法により算定）

販売用不動産…個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿
価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産（リース資産は除く）

定率法を採用しております。

ただし、建物並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した構築物につきましては定額
法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	6 年～47 年
構築物	3 年～50 年
工具、器具及び備品	3 年～10 年

(2) 無形固定資産（リース資産は除く）

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア（自社利用）については、社内における見込利用可能期間
（5 年）に基づき定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、
貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込
額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担
額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。なお、固定資産に係る控除対象外消費税等は、長期
前払費用に計上し、5 年間で均等償却を行っております。